

平成22年度黒部川貯水池試験導水について

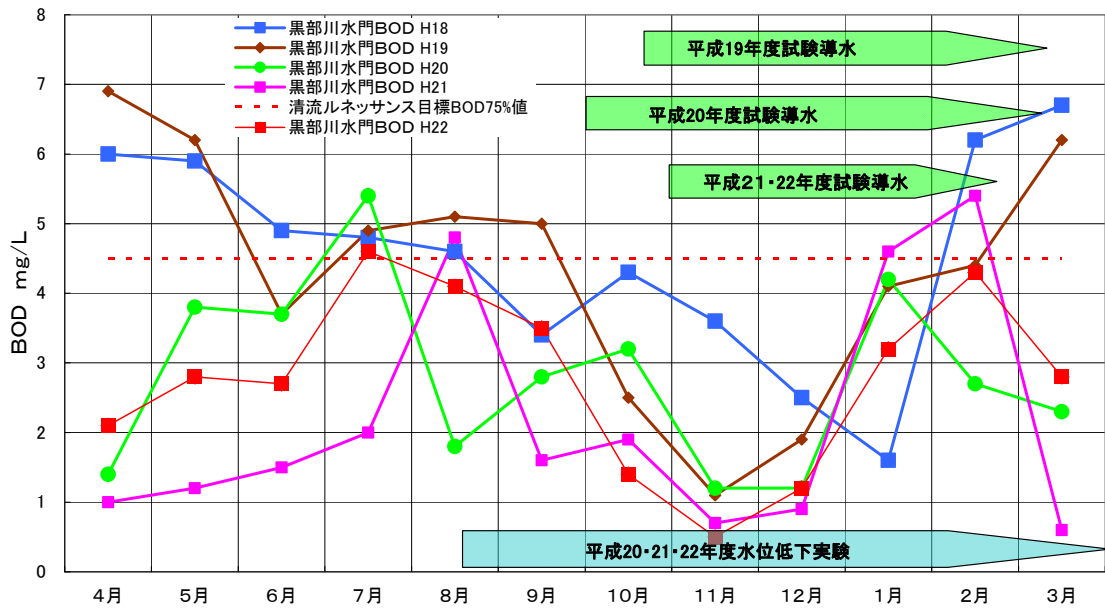
黒部川においては、河道改修により洪水時における疎通能力を増大させ、併せて河道の貯水池化を図ることにより水資源を開発し、更に内水排除も行う多目的事業（黒部川総合開発事業）が実施された。市街地を流れる河川を貯水池化した結果、水質が悪化したため、水質改善を目的とした清流ルネッサンスを策定し水質浄化対策事業を実施したが、目標水質を達成せずいた。平成19年度より、国の協力を得て、非かんがい期に利根川の余剰水を導入する試験導水を行い貯水池の流動化による水質改善対策を行った結果、平成20年度は初めて清流ルネッサンスの水質目標値4.5mg/Lを達成し、平成22年度はBOD75%値3.5mg/Lとなり徐々に水質は改善されている。



| | 水質 mg/L (黒部川水門における BOD75%値) | |
|-------------|-----------------------------|-------------|
| 環境基準値 (A類型) | 2.0 以下 | |
| 清流ルネッサンス目標値 | 4.5 | |
| 平成18年度 | 5.9 | 通常導水 |
| 平成19年度 | 5.1 | 試験導水 |
| 平成20年度 | 3.7 | 試験導水+水位低下実験 |
| 平成21年度 | 2.0 | 試験導水+水位低下実験 |
| 平成22年度 | 3.5 | 試験導水+水位低下実験 |

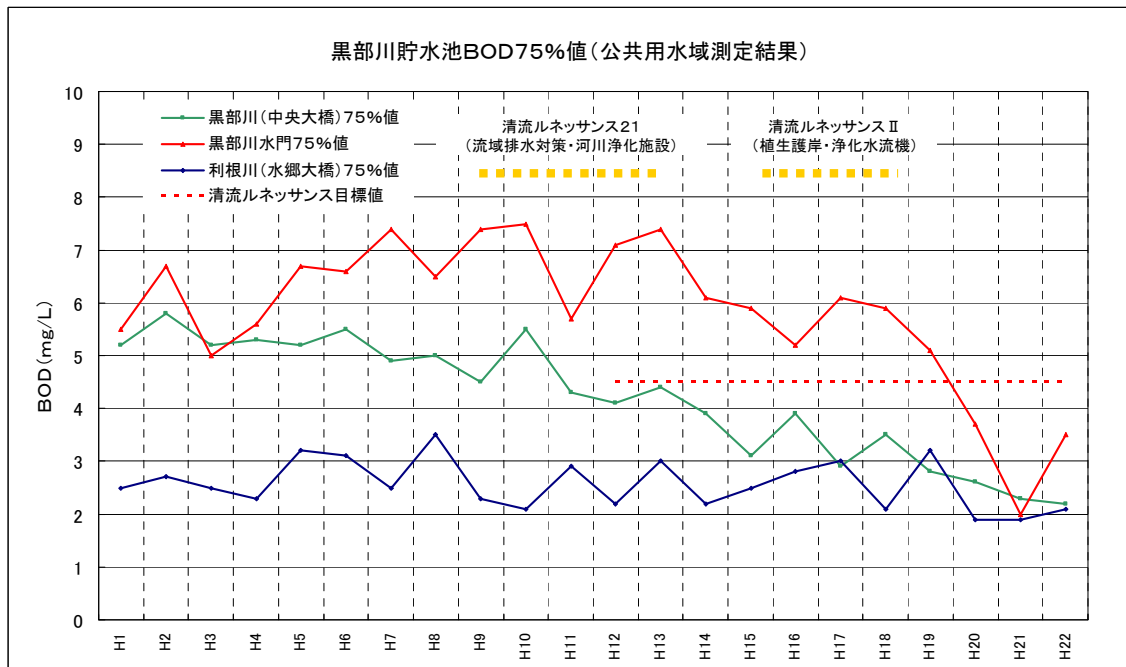
| | 試験導水期間 | 試験導水量 m ³ /s |
|--------|------------------------|-------------------------|
| 平成19年度 | 平成19年10月17日～平成20年3月9日 | 5 |
| 平成20年度 | 平成20年10月1日～平成20年10月31日 | 5 |
| | 平成20年11月1日～平成21年3月9日 | 6 |
| 平成21年度 | 平成21年11月1日～平成22年2月23日 | 6 |
| 平成22年度 | 平成22年11月1日～平成22年3月9日 | 3 または 6 |

黒部川水門BOD(公共用水域測定結果)



黒部川 BOD (公共用水域測定結果) の月別変化 (H18~H22)

平成 20 年度からは試験導水を行うと共に、貯水池の流動化を更に進める方策として、非かんがい期に貯水池の管理水位を 0.2m 低下させる水位低下実験を行った。管理水位を Y.P.+0.9m から Y.P.+0.7m に下げることにより貯水池の貯留量は 1 割減り、滞留時間 (7 日程度) も 1 割減ることになる。



水質の改善は、試験導水・水位低下実験により貯水池の流動化を図った効果及び導水による希釈効果であると思われるが、黒部川を取り巻く水環境(利根川の水質、降雨量)は、おおむね良かったことが挙げられる。